

中日新聞が統廃合反対の運動を紹介

県立高再編問題

「1年間の説明期間を」

反対派の
団体が直訴
知事は立場崩さず



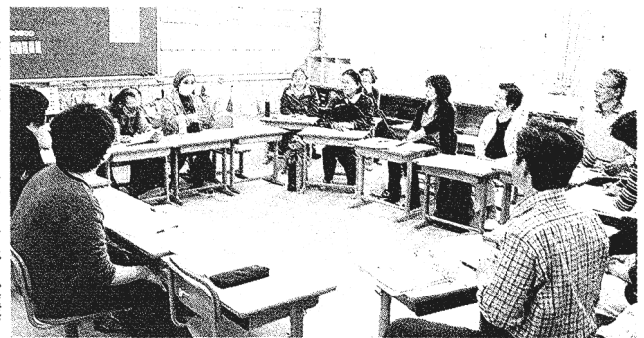
嘉田知事等に県立高校の再編計画の一時中止を
求める計画に反対する団体の関係者＝県庁で

県教育委員会が本年度中に策定を予定して
いる県立高校の再編計画に反対する「県立高
校の統廃合を考える会」「湖北の高校を守る
会」「彦根・愛知・犬上の高校を守る会」は
二十五日、嘉田由紀子知事に、計画を一時中
止、一年間の県民への説明期間をつくるよう
要望した。嘉田知事は教育への思いなどを述
べるにとどめた。
(木原育子)

三団体は▽生徒は本
当に減少傾向なのか▽
高校再編で財政健全化
がどこまで実現できる
のか▽子どもが切磋琢磨
できる環境は大規模
校だけなのか―などを
問いかけた。
嘉田知事は「学科の
細分化が進み、県教委
動に触れ「いっぺんに
何校がなくなると言わ
れると、一番大事な議
論がなくなる」「(再
編計画の中で)子ども
の視点、生徒の視点が
大切だと議場で一貫し
て言っているが、私の
意見を聞いてくださら
ないのが悲しい」と述
べた。
県教委が議論を委ね
ている「県立学校のあ
り方検討委員会」が示
した一学年当たり六
八学級とする適正学級
数には、知事は「私は
四学級以下を対象にな
ると一度も言っていない
会」の事務局長でもあ
る対月慈照さんは小規
模校の良さに触れ「今
の子どもはさまざま
な社会情勢で不安定に生
きている。状況をつか
んで対応する丁寧さが
なければならたな
い。統廃合は許せな
い」と訴えた。

県立高再編など25分科会で討論

大津で母親大会 県内から1020人が参加



第五十六回県母親大
会(実行委員会主催、
中日新聞社など後援)
が、大津市の仰木の里

県立高校の再編計画な
どそれぞれの分科会に
分かれて討論する参加
者。大津市の仰木の
里東小学校で
東小学校で開かれた。
県内各地から千二十
人が参加。県立高校の
再編計画や発達障害、
いじめなどをテーマ
に、二十五の分科会に
分かれて討論した。
県立高校の再編計画
の分科会では教諭や保
護者ら十七人が出席。
湖北地域の保護者が
「高校の統廃合がされ
れば子どもたちの選択
肢が少なくなり、交通
費もかかる」と不安を
口にし、ほかの保護者
は「高校生たちの意見
も参考にしたい方がい
い」などと述べたりし
た。約二時間の議論の
結果▽周知不足があ
り、多くの人に再編計
面の存在を知らせてい
くべき▽反対運動の署
名を継続して行うなど
とする申し合わせをし
た。
分科会に先立ち、東
京大教授で、九条の会
事務局長の小森陽一さ
んが「青い空は青いま
まで子供らにつたえた
い」のテーマで講演
した。(木原育子)

速報
第30号

高校統廃合はストップせよ

2010/10/26

発行：滋賀高教組

(増し刷りして全教職員に配布し、また掲示板に貼るなどして下さい)